

新型コロナ感染症禍に負けず力を合わせてこの難局を乗り越えよう！

中央執行委員会見解

困難な中で、その最前線で闘う医療機関の皆さん、JR東日本に働く仲間の皆さん！JRに働く全ての仲間の皆さんに敬意と感謝を申し上げます。

私たちの国や社会、会社は、今、「新型コロナウイルスの感染症」拡大により、かつてないほどの苦境に立たされています。

私たちの会社の社長は、4月7日の記者会見で「本年3月期の新型コロナウイルス感染症による 鉄道営業収入 影響額が730億円だった」と回答されています。また、ゴールデンウィーク輸送にあっても、ご利用戴くお客様の減少に歯止めが掛かりません。さらに、私たちの会社に関連するホテルや飲食、お弁当やお土産などの物販、バス、旅行業などの業種に至っては、正常な事業運営すら困難な状況にまで陥っています。

4月7日に政府による「緊急事態宣言」が発せられ、さらに5月31日まで全国で延長されました。日本中が多くの我慢を強いられているにも関わらず、今も罹患され、発症される方は、一向に減るという状況にありません。いまだ収束時期が全く見通せない状況にあつては、2011年に発生した、東日本大震災にも比すともいえる大きな試練を迎えています。

こうした中にあつて、私たちの働くJR、JR東日本は、これからも日本を支え、地域を支え、人々の生活を支え続ける使命があります。私たちはこの使命を果たすことに心血を注いでいます。9年前、東日本大震災から立ち上がり、私たちの動かす一番電車に手を振って下さったお子さま、お年寄り、すべてのみなさんの笑顔を思い出しましょう。再びあの笑顔に出会うため、私たちができることを後悔することなく、すべてやりきっていきましょう。

今、新型コロナウイルス感染症に罹患しないことが大切です。ご自身のため、ご家族のため、会社のため、社会のため、どうか日常においてお一人おひとりができることをお願い致します。咳エチケットや手洗い、うがいなど できることを確実にしていきましょう。

また、自宅で過ごさざるをえないとき、自らを高める努力をしていきましょう。通常の業務に就けた時、お客様にさらに喜んで戴けるサービスを創り出しましょう。自己変革、会社の変革を推し進めるため、意識して行動しましょう。それこそがお客様の笑顔を創り喜んで戴けることに繋がると思います。

残念ながら「罹患したかも」。そう感じた場合は勇気をもって出勤せず、会社に申告し堂々と医療機関を受診しましょう。私たちは、社会を守る最前線で闘っています。結果として、新型コロナウイルス感染症に罹患することは、特別なこと、非常識なことではありません。とりわけ私たちは、その可能性が大きいと言えます。堂々と医療機関を受診し、職場に復帰する努力をお願いします。新型コロナウイルス感染症と闘う皆さん、そして社会の偏見と闘う皆さんを、私たちは応援し 共に闘って参ります。

私たちのように、現在の目に見えない敵と闘うという 非常時にあつても そこから逃げられない、地域や人々の生活を守る仕事をしていれば、そのリスクは決して少なくないのだと思います。私たちジエイアール・イーストユニオンは、勇気を持って日常業務に取り組んでいる仲間を尊敬し、共にこの困難に立ち向かっていこうと決意しています。

私たちは何もできないかもしれない、しかし、私たちは逃げない。みなさんと共に考え悩み共に進んで行く事を決意しています。

感染の不安と闘いながら、毎日、職務に精励しているのは、私たちだけではありません。この難局にあつても 社会を支えようという高い志を持った仲間が、医療にも、物流にも、生産の現場にもいます。私たちの努力は 確かに社会を支え、良識ある方々は、私たちの努力に感謝で応えてくれています。私たちは決して孤独ではありません。

私たちジエイアール・イーストユニオンは、企業内労働組合として会社を守る運動を展開し、さらに社員としての本分を忘れず、日常業務をがんばっている仲間のみなさんが、さらに安全で安心して働けるよう努力して参ります。JR産業で働く全ての仲間の安心のために、そしてJR産業、JR東日本の明るい将来のために、力を合わせてこの難局を乗り越えていきましょう。

令和2年5月5日

ジエイアール・イーストユニオン中央執行委員会